

ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間とクローズド期間	信託期間は2013年10月21日から2023年11月10日までです。クローズド期間はありません。なお、受益者に有利であると認めるときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。	
運用方針	主として、世界の投資適格格付けの公社債を主な投資対象とするベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保と信託財産の成長を目指します。また、マザーファンド受益証券を通じて、為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、外国為替の予約取引を機動的に行います。 マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）に運用指図に関する権限を委託しています。	
主要運用対象	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド（1年決算型）	ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド（1年決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年1回決算（原則として11月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）を行い、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、基準価額水準、市況動向等を勘案するとともに、信託財産の成長にも留意し、委託会社が分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

BARINGS

運用報告書（全体版）

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド （1年決算型） 〈愛称〉ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

（決算日 2019年11月11日）

第7期

運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリングス・ジャパン株式会社 営業本部

電話番号：03-4565-1040

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階

<https://www.barings.com/jp/individual>

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）」（愛称：ウィンドミル1年）は、2019年11月11日に第7期決算を行いました。ここに謹んで期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）〈愛称〉ウィンドミル1年の運用状況のご報告	
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
当期の運用経過	2
今後の運用方針	6
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	9
利害関係人との取引状況等	9
組入資産の明細	9
投資信託財産の構成	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
損益の状況	11
分配金のお知らせ	12
お知らせ	12
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの運用状況のご報告	13

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
3期(2015年11月10日)	10,649		0	△0.7	98.1	—	4,204
4期(2016年11月10日)	10,800		0	1.4	98.7	—	11,994
5期(2017年11月10日)	10,464		0	△3.1	98.9	—	15,691
6期(2018年11月12日)	10,012		0	△4.3	99.7	—	14,658
7期(2019年11月11日)	10,807		0	7.9	99.5	△24.8	14,935

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。(以下同じ)

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率(=買建比率-売建比率)は、親投資信託への投資割合に応じて算出した当ファンドベースの比率です。(以下同じ)

(注5) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注6) 純資産総額の単位未満は切捨て。

(注7) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。(以下同じ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

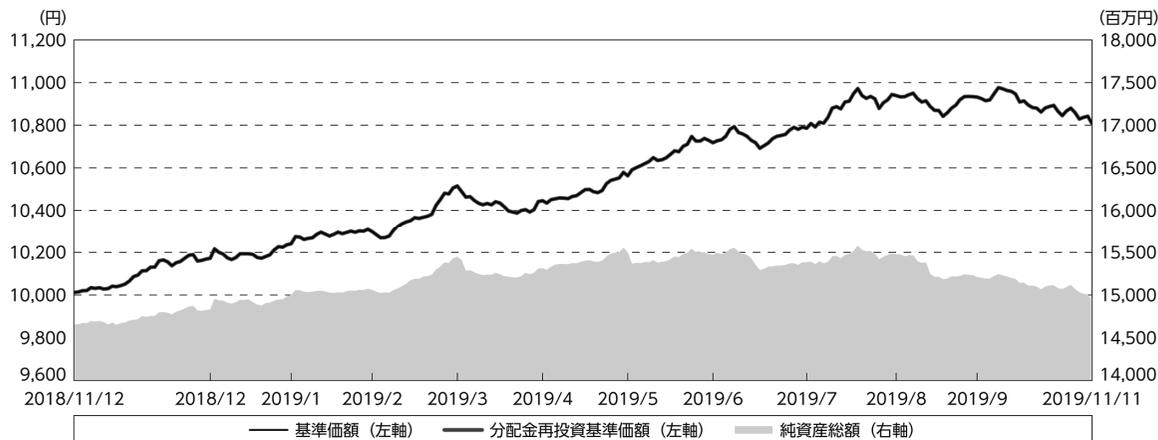
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2018年11月12日	10,012		—	99.7	—	—
11月末	10,065		0.5	98.6	—	—
12月末	10,172		1.6	95.2	—	—
2019年1月末	10,240		2.3	97.3	—	—
2月末	10,297		2.8	98.8	—	—
3月末	10,515		5.0	98.2	—	—
4月末	10,446		4.3	97.5	—	—
5月末	10,563		5.5	94.2	—	—
6月末	10,718		7.1	97.3	—	—
7月末	10,786		7.7	96.9		△22.1
8月末	10,939		9.3	95.0		△36.3
9月末	10,932		9.2	96.4		△29.5
10月末	10,867		8.5	100.3		△24.9
(期 末)						
2019年11月11日	10,807		7.9	99.5		△24.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○当期の運用経過

(2018年11月13日～2019年11月11日)

■ 期中の基準価額等の推移



期首：10,012円

期末：10,807円 (既払分配金：0円)

騰落率： 7.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年11月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記既払分配金は、期中の分配金（税込み）合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」における期中の基準価額は9.6%の上昇となりました。

上昇要因

- 金利低下により保有していたオーストラリア、米国、ニュージーランド等の債券価格が上昇したこと、保有債券からの利息収入が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

- 為替ヘッジに伴うヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。

■ 投資環境（2018年11月13日～2019年11月11日）

◎債券市場

当期前半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）にて2019年の利上げ見通しが下方修正され、当面の利上げ停止が示唆されたこと、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和姿勢の強化、米中貿易摩擦への懸念などを背景に、米欧の長期金利は低下基調となりました。

当期後半は、FOMCにて利下げが実施されたこと、ECB理事会にて包括的な金融緩和策が実施されたこと、米中貿易摩擦への懸念などを背景に、米欧の長期金利は低下しました。オーストラリア、メキシコ、タイ、インド等、その他各国の中央銀行も利下げを実施するなど世界景気の減速に伴い、各国の金融緩和競争が進行しました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りでみると、米国では当期首の3.2%から当期末1.9%へ低下、ドイツでは0.4%から-0.2%へ低下しました。

◎為替市場

為替市場では、世界景気の減速に伴い米国や欧州等の中央銀行が金融緩和姿勢を強化する中、日銀の金融政策の手詰まり感が意識され、日本と海外の金融政策格差の縮小観測から、円が米ドルやユーロ等の主要通貨に対して強含む展開となりました。ユーロは、ドイツをはじめとした欧州の景気減速懸念、ECBの金融緩和姿勢の強化などを受け、主要通貨に対してユーロ安が進行しました。当期の米ドル・円相場は、当期首の113円台後半から当期末の109円台前半へ米ドル安・円高が進行しました。

■ 当ファンドのポートフォリオ（2018年11月13日～2019年11月11日）

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組み入れました。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

<デュレーション>

米国の一部指標にも景気のピークアウトの兆しが見られ、これまでの米国での利上げの累積的な影響や貿易摩擦の世界経済に対する懸念から、2019年以降の米国の利上げ停止を債券市場が織り込む可能性も想定していました。各国の中央銀行が金融引締め姿勢を後退、もしくは緩和姿勢を強化する中、景気後退懸念が現実味を増せば世界的な金融緩和競争に至る展開も予想され、世界的に長期金利の低下要因になるものと予想していました。ファンドのデュレーション*については、期初の段階ではポートフォリオ全体で約7.7年とし、期中の金利低下局面で段階的に利益確定を図り、期末時点で約6.4年としました。また、各国の債券市場が急速に利下げを織り込み、世界的な金融緩和競争の進行がやや過熱気味となる中、国債先物の売りを実施し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<国別配分>

期初は、米国、ニュージーランド、オーストラリア、英国、カナダ等への厚めの配分とし、新興国ではメキシコ、ポーランド中心の厳選配分としました。期中の金利低下局面で米国、英国等の利益確定を図り、ユーロ圏（イタリア、スペイン、ユーロ建新興国債等）、オーストラリア、ノルウェー（新規組み入れ）、スウェーデン（新規組み入れ）、デンマーク（新規組み入れ）等へ入れ替えを実施しました。ヘッジプレミアムの獲得が期待でき、高いロールダウン効果が見込まれることなどから、スウェーデン、デンマークへの投資を新たに開始しました。ノルウェーでは、利上げを実施している一方、経済的に結びつきの強いユーロ圏の景気減速、ECBが金融緩和姿勢を強化しており、金融引締め姿勢から金融緩和姿勢への転換を想定し、新たに組み入れを開始しました。新興国では、先進国国債の利回りがマイナスに水没する中、利回り水準が魅力的なメキシコの配分を増加しました。また、各国の債券市場が急速に利下げを織り込み、世界的な金融緩和競争の進行がやや過熱気味となる中、米国や英国、オーストラリア、カナダ、ドイツ、イタリアの国債先物の売りを開始し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<通貨別配分>

当期は、期中に景気後退懸念に伴う日本と海外の金融政策格差の縮小による円高への警戒感を高め、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を一時100%に近い水準まで引き上げ、期末にかけて円高が進行した局面で一部利益確定を図り、期末時点で約93%としました。また、円以外の通貨では、商品市況が上昇するリスクに備え、ノルウェークローネを新たに買い持ち、米ドルの買い持ち幅を拡大、ユーロの売り持ち幅を拡大、ヘッジプレミアムの獲得が期待できるデンマーククローネ、スウェーデンクローネを新たに売り持ちとしました。新興国通貨では、円ヘッジコストの高いメキシコペソの買い持ち幅を拡大しました。

* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【組入債券の種別構成】

期末（2019年11月11日現在）

No.	種 別	比率 (%)
1	地方債証券	42.3
2	国債証券	37.1
3	特殊債券	13.9
4	普通社債券	5.5

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の上位5銘柄】

期末（2019年11月11日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	7.9
2	ニュージーランド地方自治体資金調達機関債	4.5	2027年4月15日	ニュージーランド	6.5
3	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6.0	2030年5月1日	オーストラリア	5.5
4	欧州投資銀行債	5.625	2032年6月7日	国際機関	3.4
5	スペイン国債	5.15	2044年10月31日	スペイン	3.4

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末（2019年11月11日現在）

No.	通 貨	比率 (%)
1	米ドル	20.4
2	オーストラリアドル	15.6
3	ニュージーランドドル	13.4
4	ユーロ	12.8
5	カナダドル	12.8

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 分配金（2018年11月13日～2019年11月11日）

基準価額の水準および市況動向等を勘案して収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期
	2018年11月13日～ 2019年11月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,056

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

引き続き、「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組入れて運用を行います。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

米連邦準備制度理事会（FRB）は利下げサイクルを開始し、その他各国の中央銀行も金融緩和策を実施しています。世界景気の減速に伴い、金融緩和と競争が激化する可能性があり、世界的に金利の上がりづらい展開を見込みます。一方、金融政策の限界論も囁かれる中、景気浮揚のための主役は財政政策に移行する可能性も想定されます。財政政策に主軸が移るにつれて、行き過ぎた市場の金融緩和への期待の揺り戻しも想定され、金利低下余地を慎重に探る方針です。

国別では、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドでは金融政策を睨んだ満期構成戦略を実施し、先進国国債の利回りがマイナスに水没する中、利回りの魅力度が残る地方債、ハードカレンシー建（米ドル、ユーロ建）の新興国債券の配分増を検討します。また、債券先物取引を活用し、今後も機動的かつ効率的な金利リスク管理を適宜実行します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は85%～100%を基本レンジとする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、金利上昇と資源国通貨高が連動するシナリオに備え、ノルウェークローネなどの買い持ちポジションを維持する方針です。新興国通貨では、メキシコペソ、ポーランドズロチ等の円ヘッジコストの高い通貨の買い持ちを維持する方針とします。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月13日～2019年11月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 168	% 1.591	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(81)	(0.768)	投信会社分は、ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(81)	(0.768)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	5	0.045	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.039)	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、ファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	173	1.638	
期中の平均基準価額は、10,545円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、(b) 売買委託手数料および(c) その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は期末の税率を採用しています。

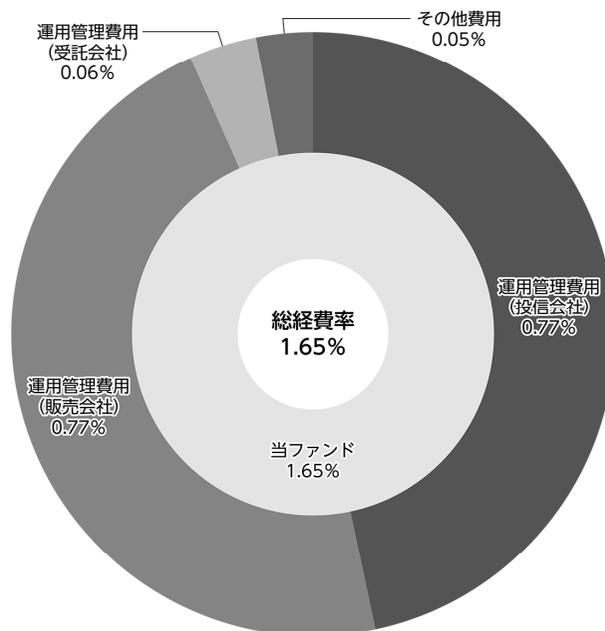
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月13日～2019年11月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 1,729,248	千円 2,003,374	千口 2,685,554	千円 3,126,435

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月13日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年11月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 13,532,678	千口 12,576,373	千円 15,056,434

(注) 単位未満は切捨て。

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	15,056,434	99.7
コール・ローン等、その他	48,314	0.3
投資信託財産総額	15,104,748	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（67,234,281千円）の投資信託財産総額（68,947,110千円）に対する比率は97.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=109.16円、1カナダドル=82.52円、1メキシコペソ=5.71円、1ユーロ=120.25円、1英ポンド=139.65円、1スウェーデンクローナ=11.25円、1ノルウェークローネ=11.93円、1デンマーククローネ=16.09円、1ポーランドズロチ=28.19円、1オーストラリアドル=74.82円、1ニュージーランドドル=69.19円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年11月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,104,748,406
ペアリングワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド(評価額)	15,056,434,325
未収入金	48,314,081
(B) 負債	169,679,966
未払解約金	48,314,081
未払信託報酬	120,963,676
その他未払費用	402,209
(C) 純資産総額(A-B)	14,935,068,440
元本	13,820,420,418
次期繰越損益金	1,114,648,022
(D) 受益権総口数	13,820,420,418口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,807円

(注) 期首元本額	14,641,346,638円
期中追加設定元本額	1,900,952,084円
期中一部解約元本額	2,721,878,304円

○損益の状況（2018年11月13日～2019年11月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	1,243,914,279
売買益	1,418,622,231
売買損	△ 174,707,952
(B) 信託報酬等	△ 238,401,561
(C) 当期損益金(A+B)	1,005,512,718
(D) 前期繰越損益金	△ 830,762,971
(E) 追加信託差損益金	939,898,275
(配当等相当額)	(1,299,735,726)
(売買損益相当額)	(△ 359,837,451)
(F) 計(C+D+E)	1,114,648,022
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,114,648,022
追加信託差損益金	939,898,275
(配当等相当額)	(1,303,969,826)
(売買損益相当額)	(△ 364,071,551)
分配準備積立金	1,538,009,465
繰越損益金	△1,363,259,718

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における親投資信託の投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託するために要する費用(投資顧問料)として委託者報酬の中から支弁している額は、25,205,573円です。

(注5) 分配金の計算過程 (単位:円)

	当 期
(a) 配当等収益(費用控除後)	543,522,366
(b) 有価証券売買等損益(費用控除後)	0
(c) 収益調整金	1,303,969,826
(d) 分配準備積立金	994,487,099
分配可能額(a+b+c+d)	2,841,979,291
(1万口当たり)	2,056
収益分配金額	0
(1万口当たり)	0

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

普通分配金ならびに換金時（解約）および償還時の差益（譲渡益）に対する税率について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の額に対し2.1%の金額が復興特別所得税として徴収されます。

個人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては20.315%（所得税、復興特別所得税および地方税）となります。

※個人の受益者が有する当該受益権のうち、NISA（ニーサ、少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（ジュニアニーサ、未成年者少額投資非課税制度）の適用を受けているものについては非課税となります。

法人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては15.315%（所得税および復興特別所得税（地方税は課せられません））となります。

※税法が改正された場合等には上記内容が変更になる場合があります。

※課税上の取扱いの詳細については、販売会社・税務署等にお問い合わせください。

○お知らせ

投資顧問会社（ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人））への運用報酬の料率を変更しましたので、信託約款に所要の変更を行いました。（2019年8月10日）

変更前： 年率0.335%以内

変更後： 年率0.490%以内

運用報告書

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド

第7期（決算日 2019年11月11日）

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」は、2019年11月11日に第7期の決算を行いました。

ここに当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階
<https://www.barings.com/jp/individual>

★当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2013年10月15日から無期限です。
運用方針	インカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使より取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		騰落	騰落率			
	円		%	%	%	百万円
3期(2015年11月10日)	11,080		0.9	97.5	—	89,919
4期(2016年11月10日)	11,414		3.0	98.1	—	120,222
5期(2017年11月10日)	11,234	△1.6		98.1	—	103,446
6期(2018年11月12日)	10,921	△2.8		98.9	—	74,163
7期(2019年11月11日)	11,972		9.6	98.7	△24.6	66,431

(注1) 基準価額は1万円当たり。(以下同じ)

(注2) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。(以下同じ)

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注5) 純資産総額の単位未満は切捨て。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円		%			%			%
	2018年11月12日		10,921		—			98.9			—
	11月末		10,987		0.6			98.6			—
	12月末		11,118		1.8			95.0			—
	2019年1月末		11,208		2.6			97.0			—
	2月末		11,284		3.3			98.3			—
	3月末		11,536		5.6			97.7			—
	4月末		11,474		5.1			96.8			—
	5月末		11,620		6.4			94.1			—
	6月末		11,804		8.1			97.1			—
	7月末		11,896		8.9			96.6			△22.0
	8月末		12,080		10.6			94.6			△36.2
	9月末		12,088		10.7			95.8			△29.3
	10月末		12,033		10.2			99.5			△24.7
	(期 末)										
	2019年11月11日		11,972		9.6			98.7			△24.6

(注) 騰落率は期首比です。

■ 当期の運用経過（2018年11月13日～2019年11月11日）

○基準価額の主な変動要因

期中の基準価額は9.6%の上昇となりました。

上昇要因

■金利低下により保有していたオーストラリア、米国、ニュージーランド等の債券価格が上昇したこと、保有債券からの利息収入が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

■為替ヘッジに伴うヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。



■ 投資環境（2018年11月13日～2019年11月11日）

◎債券市場

当期前半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）にて2019年の利上げ見通しが下方修正され、当面の利上げ停止が示唆されたこと、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和姿勢の強化、米中貿易摩擦への懸念などを背景に、米欧の長期金利は低下基調となりました。

当期後半は、FOMCにて利下げが実施されたこと、ECB理事会にて包括的な金融緩和策が実施されたこと、米中貿易摩擦への懸念などを背景に、米欧の長期金利は低下しました。オーストラリア、メキシコ、タイ、インド等、その他各国の中央銀行も利下げを実施するなど世界景気の減速に伴い、各国の金融緩和競争が進行しました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当期首の3.2%から当期末1.9%へ低下、ドイツでは0.4%から-0.2%へ低下しました。

◎為替市場

為替市場では、世界景気の減速に伴い米国や欧州等の中央銀行が金融緩和姿勢を強化する中、日銀の金融政策の手詰まり感が意識され、日本と海外の金融政策格差の縮小観測から、円が米ドルやユーロ等の主要通貨に対して強含む展開となりました。ユーロは、ドイツをはじめとした欧州の景気減速懸念、ECBの金融緩和姿勢の強化などを受け、主要通貨に対してユーロ安が進行しました。当期の米ドル・円相場は、当期首の113円台後半から当期末の109円台前半へ米ドル安・円高が進行しました。

■ 当ファンドのポートフォリオ（2018年11月13日～2019年11月11日）

<デュレーション>

米国の一部指標にも景気のピークアウトの兆しが見られ、これまでの米国での利上げの累積的な影響や貿易摩擦の世界経済に対する懸念から、2019年以降の米国の利上げ停止を債券市場が織り込む可能性も想定していました。各国の中央銀行が金融引締め姿勢を後退、もしくは緩和姿勢を強化する中、景気後退懸念が現実味を増せば世界的な金融緩和競争に至る展開も予想され、世界的に長期金利の低下要因になるものと予想していました。ファンドのデュレーション*については、期初の段階ではポートフォリオ全体で約7.7年とし、期中の金利低下局面で段階的に利益確定を図り、期末時点で約6.4年としました。また、各国の債券市場が急速に利下げを織り込み、世界的な金融緩和競争の進行がやや過熱気味となる中、国債先物の売りを実施し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<国別配分>

期初は、米国、ニュージーランド、オーストラリア、英国、カナダ等への厚めの配分とし、新興国ではメキシコ、ポーランド中心の厳選配分としました。期中の金利低下局面で米国、英国等の利益確定を図り、ユーロ圏（イタリア、スペイン、ユーロ建新興国国債等）、オーストラリア、ノルウェー（新規組み入れ）、スウェーデン（新規組み入れ）、デンマーク（新規組み入れ）等へ入れ替えを実施しました。ヘッジプレミアムの獲得が期待でき、高いロールダウン効果が見込まれることなどから、スウェーデン、デンマークへの投資を新たに開始しました。ノルウェーでは、利上げを実施している一方、経済的に結びつきの強いユーロ圏の景気減速、ECBが金融緩和姿勢を強化しており、金融引締め姿勢から金融緩和姿勢への転換を想定し、新たに組み入れを開始しました。新興国では、先進国国債の利回りがマイナスに水没する中、利回り水準が魅力的なメキシコの配分を増加しました。また、各国の債券市場が急速に利下げを織り込み、世界的な金融緩和競争の進行がやや過熱気味となる中、米国や英国、オーストラリア、カナダ、ドイツ、イタリアの国債先物の売りを開始し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<通貨別配分>

当期は、期中に景気後退懸念に伴う日本と海外の金融政策格差の縮小による円高への警戒感を高め、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を一時100%に近い水準まで引き上げ、期末にかけて円高が進行した局面で一部利益確定を図り、期末時点で約93%としました。また、円以外の通貨では、商品市況が上昇するリスクに備え、ノルウェークローネを新たに買い持ち、米ドルの買い持ち幅を拡大、ユーロの売り持ち幅を拡大、ヘッジプレミアムの獲得が期待できるデンマーククローネ、スウェーデンクローネを新たに売り持ちとしました。新興国通貨では、円ヘッジコストの高いメキシコペソの買い持ち幅を拡大しました。

* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【組入債券の種別構成】

期末 (2019年11月11日現在)

No.	種 別	比率 (%)
1	地方債証券	42.3
2	国債証券	37.1
3	特殊債券	13.9
4	普通社債券	5.5

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末 (2019年11月11日現在)

No.	通 貨	比率 (%)
1	米ドル	20.4
2	オーストラリアドル	15.6
3	ニュージーランドドル	13.4
4	ユーロ	12.8
5	カナダドル	12.8

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の上位5銘柄】

期末 (2019年11月11日現在)

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	7.9
2	ニュージーランド地方自治体資金調達機関債	4.5	2027年4月15日	ニュージーランド	6.5
3	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6.0	2030年5月1日	オーストラリア	5.5
4	欧州投資銀行債	5.625	2032年6月7日	国際機関	3.4
5	スペイン国債	5.15	2044年10月31日	スペイン	3.4

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

今後の運用方針

米連邦準備制度理事会 (FRB) は利下げサイクルを開始し、その他各国の中央銀行も金融緩和策を実施しています。世界景気の減速に伴い、金融緩和競争が激化する可能性があり、世界的に金利の上がりづらい展開を見込みます。一方、金融政策の限界論も囁かれる中、景気浮揚のための主役は財政政策に移行する可能性も想定されます。財政政策に主軸が移るにつれて、行き過ぎた市場の金融緩和への期待の揺り戻しも想定され、金利低下余地を慎重に探る方針です。

国別では、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドでは金融政策を睨んだ満期構成戦略を実施し、先進国国債の利回りがマイナスに水没する中、利回りの魅力度が残る地方債、ハードカレンシー建 (米ドル、ユーロ建) の新興国債券の配分増を検討します。また、債券先物取引を活用し、今後も機動的かつ効率的な金利リスク管理を適宜実行します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は85%~100%を基本レンジとする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、金利上昇と資源国通貨高が連動するシナリオに備え、ノルウェークローネなどの買い持ちポジションを維持する方針です。新興国通貨では、メキシコペソ、ポーランドズロチ等の円ヘッジコストの高い通貨の買い持ちを維持する方針とします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月13日～2019年11月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.040 (0.039) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用 信託事務の処理に要する諸費用
合 計	5	0.042	
期中の平均基準価額は、11,594円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 53,088	百万円 36,852

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月13日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年11月11日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	95,823	124,430	13,582,819	20.4	—	15.0	3.9	1.5
カナダ	千カナダドル 76,813	千カナダドル 102,887	8,490,236	12.8	—	12.1	0.5	0.2
メキシコ	千メキシコペソ 715,000	千メキシコペソ 868,137	4,957,065	7.5	—	6.2	—	1.3
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリア	19,500	25,388	3,053,021	4.6	—	3.2	1.4	—
スペイン	25,000	42,237	5,078,999	7.6	—	7.6	—	—
ベルギー	500	847	101,857	0.2	—	0.2	—	—
インドネシア	1,000	1,073	129,058	0.2	—	—	0.2	—
ペルー	1,000	1,146	137,890	0.2	—	0.2	—	—
イギリス	千英ポンド 33,733	千英ポンド 47,418	6,621,958	10.0	—	8.8	0.6	0.5
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 50,000	千スウェーデンクローナ 78,750	885,937	1.3	—	1.3	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 125,000	千ノルウェークローネ 129,430	1,544,099	2.3	—	1.4	—	0.9
デンマーク	千デンマーククローネ 7,000	千デンマーククローネ 13,300	213,997	0.3	—	0.3	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 40,000	千ポーランドズロチ 52,720	1,486,176	2.2	—	2.2	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 95,748	千オーストラリアドル 138,630	10,372,299	15.6	—	15.6	—	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 111,007	千ニュージーランドドル 128,513	8,891,860	13.4	—	9.4	3.9	0.0
合 計	—	—	65,547,278	98.7	—	83.8	10.5	4.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末				
		利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	BELGIUM 8.875% 01DEC24	8.875	5,000	6,505	710,111	2024/12/1
	INDONESIA 5.875% 15JAN24	5.875	2,500	2,808	306,586	2024/1/15
	INDONESIA 5.950% 08JAN46	5.95	1,500	1,975	215,621	2046/1/8
	MEXICO 3.625% 15MAR22	3.625	2,740	2,827	308,632	2022/3/15
	MEXICO 4.5% 22APR29	4.5	1,000	1,089	118,882	2029/4/22
	PANAMA 5.20% 30JAN20	5.2	4,000	4,032	440,187	2020/1/30
	PANAMA 6.7% 26JAN36	6.7	4,500	6,226	679,725	2036/1/26
	PERU 8.75% 21NOV33	8.75	9,200	14,960	1,633,092	2033/11/21
	PHILIPPINES 5.5% 30MAR26	5.5	3,800	4,506	491,936	2026/3/30
	PHILIPPINES 6.375% 23OCT34	6.375	1,000	1,408	153,773	2034/10/23
	PORTUGAL 5.125% 15OCT24	5.125	2,000	2,244	244,976	2024/10/15
	US TRSY 4.50% 15FEB36	4.5	3,000	3,983	434,806	2036/2/15
	US TRSY 4.75% 15FEB41	4.75	2,600	3,660	399,537	2041/2/15
	US TRSY 6.625% 15FEB27	6.625	200	264	28,913	2027/2/15
地方債証券	NOVA SCOTIA 8.25% 30JUL22	8.25	5,000	5,813	634,576	2022/7/30
	QUEBEC 7.50% 15JUL23	7.5	5,000	5,957	650,266	2023/7/15
	QUEBEC 7.50% 15SEP29	7.5	5,100	7,359	803,341	2029/9/15
	SASKATCHWN 9.375% 15DEC20	9.375	5,000	5,388	588,168	2020/12/15
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEV BK 6.22% 15AUG27	6.22	3,523	4,418	482,272	2027/8/15
	EIB 4.875% 15FEB36	4.875	6,500	6,678	947,340	2036/2/15
	HYDROQUEBEC 8.05% 07JUL24	8.05	2,000	2,518	274,871	2024/7/7
	HYDROQUEBEC 8.25% 15JAN27	8.25	2,000	2,771	302,505	2027/1/15
	HYDROQUEBEC8.875% 01MAR26	8.875	3,000	4,143	452,282	2026/3/1
	HYDROQUEBEC9.375% 15APR30	9.375	4,700	7,643	834,331	2030/4/15
普通社債券 (含む投資法人債券)	APPLE 4.65% 23FEB46	4.65	2,100	2,559	279,341	2046/2/23
	BELLS TEL 7.00% 01OCT25	7.0	1,300	1,546	168,857	2025/10/1
	BELLSOUTH 6.00% 15NOV34	6.0	2,610	2,897	316,261	2034/11/15
	GOLDMAN S 5.95% 15JAN27	5.95	750	883	96,410	2027/1/15
	MICHIGAN B 7.85% 15JAN22	7.85	1,200	1,338	146,084	2022/1/15
	MICROSOFT INC5.3% 08FEB41	5.3	3,000	4,022	439,122	2041/2/8
小	計				13,582,819	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル		
地方債証券	BR COLMBA 3.20% 18JUN44	3.2	8,000	9,042	746,185	2044/6/18
	BR COLMBA 9.00% 23AUG24	9.0	2,863	3,774	311,452	2024/8/23
	BR COLUMBIA 6.35% 18JUN31	6.35	5,200	7,325	604,465	2031/6/18
	ONTARIO 5.60% 02JUN35	5.6	15,000	20,929	1,727,089	2035/6/2
	ONTARIO 7.60% 02JUN27	7.6	3,000	4,126	340,543	2027/6/2
	OTTAWA 4.60% 14JUL42	4.6	3,000	3,903	322,110	2042/7/14
	QUEBEC 5.75% 01DEC36	5.75	15,000	21,698	1,790,551	2036/12/1
	SASKATCHWN 4.75% 01JUN40	4.75	10,000	13,276	1,095,560	2040/6/1
	SASKATCHWN 8.75% 30MAY25	8.75	5,000	6,727	555,182	2025/5/30
	TORONTO 4.70% 10JUN41	4.7	3,000	3,899	321,810	2041/6/10

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
カナダ		%	千カナダドル	千カナダドル	千円		
	特殊債券 (除く金融債)	ONTARIO EL10.125% 15OCT21	10.125	1,250	1,445	119,296	2021/10/15
		RES FRANCE 4.70% 01JUN35	4.7	5,500	6,737	555,987	2035/6/1
小	計					8,490,236	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ			
	国債証券	MEXICO 10.0% 05DEC24	10.0	250,000	286,040	1,633,292	2024/12/5
		MEXICO 6.50% 10JUN21	6.5	150,000	149,652	854,516	2021/6/10
		MEXICO 7.75% 29MAY31	7.75	200,000	213,069	1,216,625	2031/5/29
		MEXICO 8.50% 18NOV38	8.5	100,000	112,641	643,181	2038/11/18
		MEXICO UDIIIL 4.5% 04DEC25	4.5	5,000	33,995	194,116	2025/12/4
		MEXICO UDIII 4.5% 22NOV35	4.5	10,000	72,737	415,333	2035/11/22
小	計					4,957,065	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
イタリア	国債証券	ITALY 4.5% 01MAR26	4.5	6,000	7,380	887,517	2026/3/1
		ITALY 4.75% 01AUG23	4.75	2,500	2,909	349,837	2023/8/1
		ITALY 5.0% 01SEP40	5.0	7,000	10,467	1,258,668	2040/9/1
		ITALY 5.50% 01NOV22	5.5	4,000	4,632	556,998	2022/11/1
スペイン	国債証券	SPAIN 5.15% 31OCT28	5.15	5,000	7,117	855,819	2028/10/31
		SPAIN 5.15% 31OCT44	5.15	10,000	18,707	2,249,516	2044/10/31
		SPAIN 5.75% 30JUL32	5.75	10,000	16,413	1,973,663	2032/7/30
ベルギー	国債証券	BELGIUM 5.00% 28MAR35	5.0	500	847	101,857	2035/3/28
インドネシア	国債証券	INDONESIA 2.625% 14JUN23	2.625	1,000	1,073	129,058	2023/6/14
ペルー	国債証券	PERU 2.75% 30JAN26	2.75	1,000	1,146	137,890	2026/1/30
小	計					8,500,827	
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
	特殊債券 (除く金融債)	EIB 5.625% 07JUN32	5.625	10,733	16,109	2,249,644	2032/6/7
		EIB 6.00% 07DEC28	6.0	11,000	15,614	2,180,564	2028/12/7
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ELEC D FR 6.125% 02JUN34	6.125	2,300	3,312	462,649	2034/6/2
		ENELFI NV 5.625% 14AUG24	5.625	1,500	1,776	248,018	2024/8/14
		FONTER GR 9.375% 04DEC23	9.375	1,000	1,304	182,201	2023/12/4
		GATWICK FD 5.75% 23JAN37	5.75	2,000	2,841	396,801	2037/1/23
		GDF SUEZ 6.125% 11FEB21	6.125	2,200	2,337	326,462	2021/2/11
		INNOGY FIN 6.25% 03JUN30	6.25	1,500	2,056	287,253	2030/6/3
		P&G 5.25% 19JAN33	5.25	1,500	2,064	288,363	2033/1/19
小	計					6,621,958	
スウェーデン			千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ			
	国債証券	SWEDEN 3.50% 30MAR39	3.5	50,000	78,750	885,937	2039/3/30
小	計					885,937	
ノルウェー			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ			
	国債証券	NORWAY 2.00% 26APR28	2.0	75,000	77,580	925,529	2028/4/26
		NORWAY 3.75% 25MAY21	3.75	50,000	51,850	618,570	2021/5/25
小	計					1,544,099	

銘	柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
デンマーク		%	千デンマーククローネ	千デンマーククローネ	千円	
	国債証券 DENMARK 4.5% 15NOV39	4.5	7,000	13,300	213,997	2039/11/15
小	計				213,997	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券 POLAND 5.75% 25APR29	5.75	40,000	52,720	1,486,176	2029/4/25
小	計				1,486,176	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	地方債証券 NEW S WLS 6.00% 01MAY30	6.0	34,748	49,036	3,668,919	2030/5/1
	QUEENSLAND 6.50% 14MAR33	6.5	46,000	70,481	5,273,403	2033/3/14
	VICTORIA TCV 5.50% 17NOV26	5.5	15,000	19,112	1,429,976	2026/11/17
小	計				10,372,299	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券 NEW ZEALAND 3.0% 20APR29	3.0	500	570	39,479	2029/4/20
	NEW ZEALAND 3.5% 14APR33	3.5	7,000	8,630	597,128	2033/4/14
	NEW ZEALAND 2.75% 15APR37	2.75	3,000	3,458	239,316	2037/4/15
	NEW ZEALND 6.00% 15MAY21	6.0	7	7	521	2021/5/15
	地方債証券 NZ LGFA 2.75% 15APR25	2.75	15,000	15,870	1,098,061	2025/4/15
	NZ LGFA 4.50% 15APR27	4.5	52,500	62,202	4,303,774	2027/4/15
	NZ LGFA 5.50% 15APR23	5.5	23,000	26,175	1,811,112	2023/4/15
	特殊債券 (除く金融債) RENTENBK 5.375% 23APR24	5.375	10,000	11,598	802,465	2024/4/23
小	計				8,891,860	
合	計				65,547,278	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
			百万円	百万円
外 国	債券先物取引	CAN 10YR BON	—	1,735
		EURO-SCHATZ	—	1,346
		US 5YR NOTE	—	1,934
		LONG GILT	—	2,286
		EURO-BTP	—	596
		EURO-BOBL	—	2,417
		EURO-BUND	—	2,040
		US 2YR NOTE	—	234
		EURO BUXL 30	—	1,711
		US 10YR ULTR	—	759
		US ULTRA BON	—	197
		AUST 10Y BON	—	1,077

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注3) -印は組み入れなし。

○投資信託財産の構成

(2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	65,547,278	95.1
コール・ローン等、その他	3,399,832	4.9
投資信託財産総額	68,947,110	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(67,234,281千円)の投資信託財産総額(68,947,110千円)に対する比率は97.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.16円、1カナダドル=82.52円、1メキシコペソ=5.71円、1ユーロ=120.25円、1英ポンド=139.65円、1スウェーデンクローナ=11.25円、1ノルウェークローネ=11.93円、1デンマーククローネ=16.09円、1ポーランドズロチ=28.19円、1オーストラリアドル=74.82円、1ニュージーランドドル=69.19円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	139,676,745,709	
コール・ローン等	1,030,883,491	
公社債(評価額)	65,547,278,188	
未収入金	72,272,212,952	
未収利息	829,520,015	
前払費用	81,385,988	
差入委託証拠金	△ 84,534,925	
(B) 負債	73,244,851,206	
未払金	73,119,447,214	
未払解約金	125,401,384	
未払利息	2,608	
(C) 純資産総額(A-B)	66,431,894,503	
元本	55,489,311,436	
次期繰越損益金	10,942,583,067	
(D) 受益権総口数	55,489,311,436口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,972円	

(注1) 期首元本額	67,909,355,323円
期中追加設定元本額	3,011,093,198円
期中一部解約元本額	15,431,137,085円
(注2) 期末における元本の内訳	
BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	42,912,937,960円
BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(1年決算型)	12,576,373,476円

○損益の状況 (2018年11月13日~2019年11月11日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	3,222,074,191	
受取利息	3,222,561,413	
その他収益金	236,985	
支払利息	△ 724,207	
(B) 有価証券売買損益	3,177,430,066	
売買益	13,735,287,548	
売買損	△10,557,857,482	
(C) 先物取引等取引損益	229,070,625	
取引益	688,727,310	
取引損	△ 459,656,685	
(D) 保管費用等	△ 28,114,119	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	6,600,460,763	
(F) 前期繰越損益金	6,254,607,591	
(G) 追加信託差損益金	479,142,400	
(H) 解約差損益金	△ 2,391,627,687	
(I) 計(E+F+G+H)	10,942,583,067	
次期繰越損益金(I)	10,942,583,067	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。